

① いなざわ植木まつり事業

経済環境部農務課
農業振興グループ

1 事業概要

施 策 番 号	3 - 4
施 策 名	農業
施 策 目 標	農産物の市場競争力を高めるとともに、後継者の育つ魅力ある農業を確立する。
事 務 事 業 名	いなざわ植木まつり事業
担 当	経済環境部 農務課 農業振興グループ
開 始 年 度	昭和 48 年度
法 的 根 拠 等	根拠法令等なし
事 業 の 目 的	本市の植木生産者が良質な植木、苗木、盆栽を安く消費者に提供することにより、「植木・苗木・盆栽の産地 いなざわ」を広くPRし、「いなざわブランド」の振興を図る。
事 業 費 (人件費相当額を含まず。)	平成 26 年度予算額 4,273 千円 平成 25 年度決算額 3,337 千円
人 員	平成 26 年度 0.33 人 (人件費相当額 2,145 千円) 平成 25 年度 0.33 人 (人件費相当額 2,145 千円)

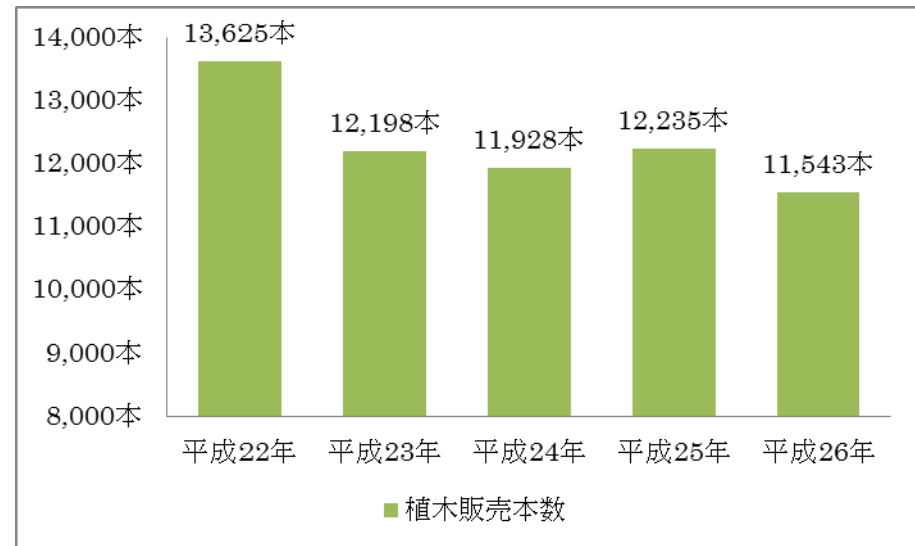
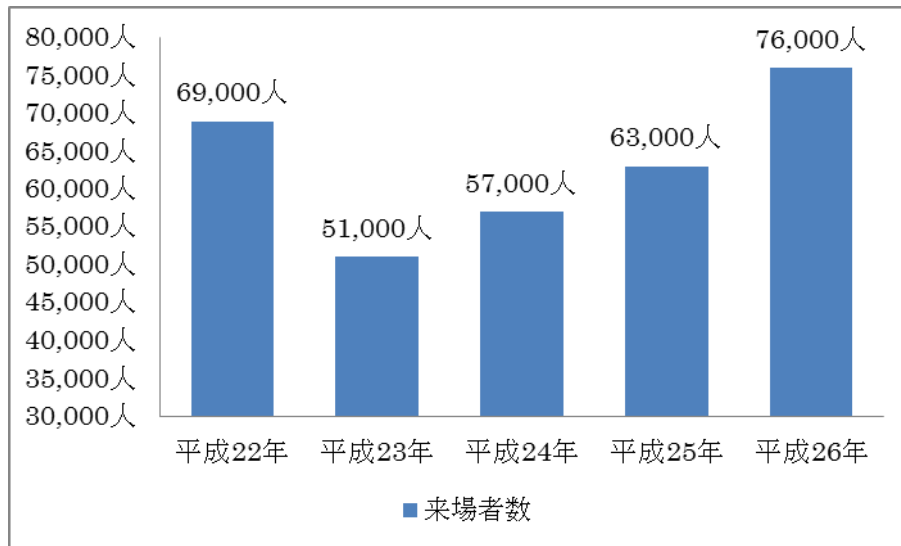
2 事業内容

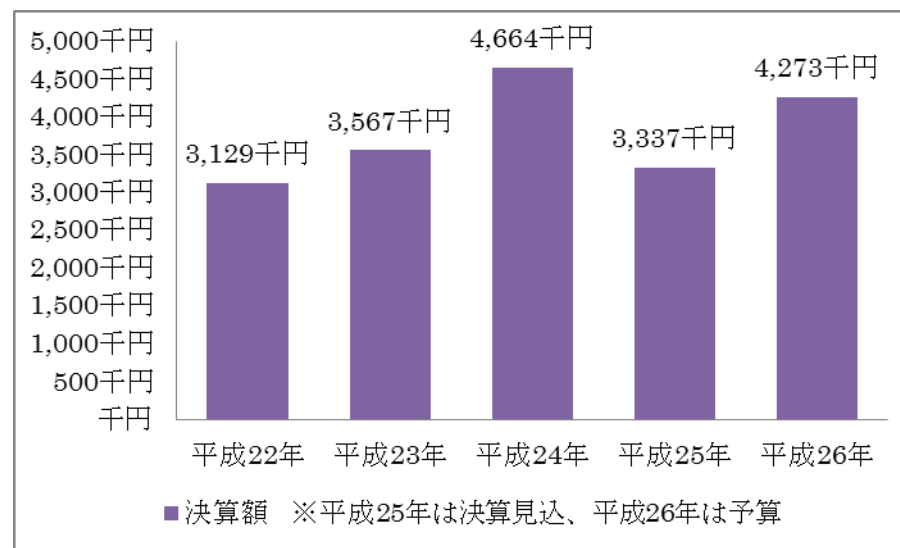
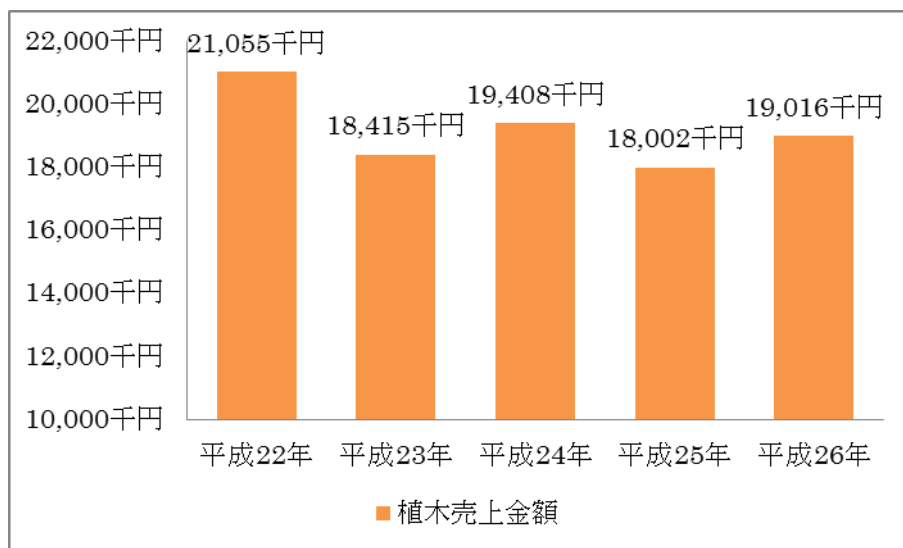
(1) 事業の概要

稲沢市と稲沢市植木生産振興会の共催で、毎年4月下旬（概ね20日から29日まで）に国府宮参道ほかにて開催している。昭和48年から開催しており、今年で42回目である。

内容としては、植木・苗木等の展示即売がメインであり、約20店の出店がある。また、主なイベントとしては、植木・苗木等引換券配布や植木・盆栽セリ市等がある。

(2) 近年の実績・経費の推移





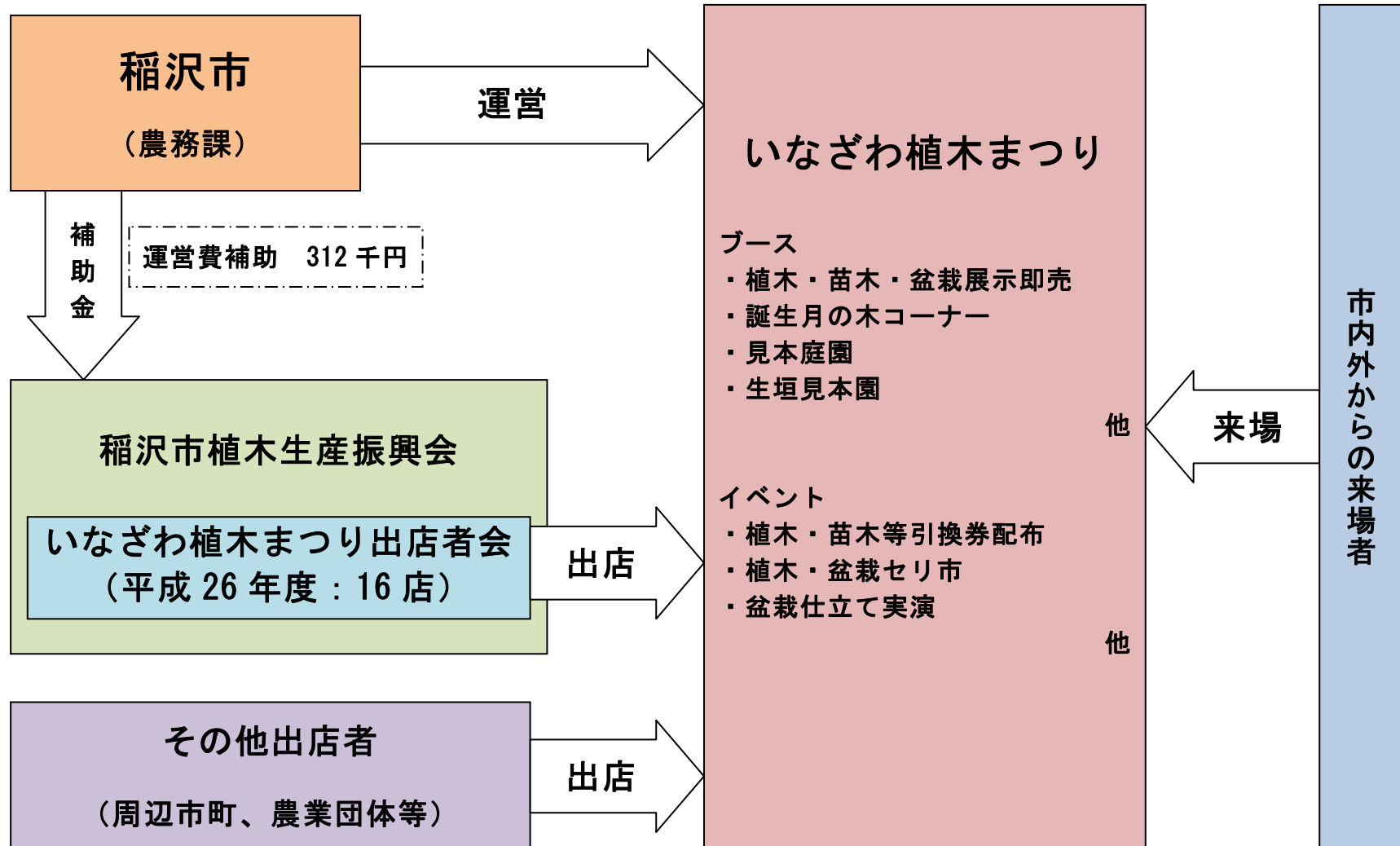
(3) 現状と課題

来場者数については、天候等にも左右されるが、概ね6万人前後である。一方で、植木販売本数及び植木売上金額については減少傾向にある。これについては、「不景気による客単価の低下」及び「生活スタイルの変化に伴う植木の需要減少」が影響していると考えられる。

大きな課題の一つが植木出店者数の減少であり、平成17年には27店あった出店者が、平成26年には16店まで減少している。出店者の高齢化に伴い、今後も減少傾向が続くと思われる。

3 事務事業イメージ図

(1) 全体イメージ



(2) 実施フロー

12月	1月	2月	3月	4月			5月	
	実施計画立案 (12月～2月頃)	いなざわ植木まつり全体会議 (2月中旬)	各種依頼・委託契約等 (2月～4月頃)	表敬訪問 (4月第2週)	会場設営 (4月第3週)	いなざわ植木まつり (4月20日前後～29日)	会場撤去 (4月30日)	実績報告・礼状発送 (5月頃)

4 1次評価の考え方

妥当性の観点	<p>稲沢の一大産業である植木生産の振興に必要不可欠な事業であり、市内外の方に植木を購入していただくことで、「いなざわブランド」の振興を図ることができる。</p> <p>その実施については、市だけでなく、稲沢市植木生産振興会及びその会員と協働して取り組むものである。</p>
有効性の観点	<p>生活スタイルの変化により、社会全体で植木の需要が低下している一方で、来場者数は増加しており、植木に興味を持つ方々に対しては好評であると言える。</p>
効率性の観点	<p>事業の運営に関して、市と稲沢市植木生産振興会が双方役割分担し、効率的な運営に努めているが、より柔軟で効率的な運営を検討する必要がある。</p> <p>また、市民への還元として、苗木の無償配布等を実施しているが、トラブルも多く、内容の一部見直し等の必要性がある。</p>
今後の方針	<p>既存の催しに替わる新たな催しを企画・実施し、来場者数及び植木販売本数・売上金額の増加を目指す。</p> <p>また、本事業を市の観光産業、催事として位置付け、本市の他のまつり（いなざわ梅まつり、稲沢桜まつり、稲沢あじさいまつり等）との連携を図る。</p> <p>なお、運営方式については、市と稲沢市植木生産振興会との共催から実行委員会方式へシフトすることを検討する。</p>

**稲沢市
事務事業
評価シート**

事業番号
事26-6

事務事業名	いなざわ植木まつり事業				
担当部局	経済環境部	担当課	農務課	担当グループ	農業振興グループ
担当連絡先	0587 - 32 - 1111 (内線 265)				
施策番号	3-4				予算 費 目
施策名	農業				
施策目標	農産物の市場競争力を高めるとともに、後継者の育つ魅力ある農業を確立します。				
関連事業名	-				
会計区分	一般会計				
款	農林業費				
項	農業費				
目	植木まつり費				
事業	植木まつり事業				

a1:事務事業の概要

事業期間	S50年以前 ~ 終期末設定		
根拠法令等	法律	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	
	条例要綱等	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	
実施手法	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input checked="" type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 負担金		
事業の概要	市内の植木生産者が良質な植木、苗木、盆栽を安く消費者に提供することにより、人々の緑に対する愛着と認識を高め、緑を活用した生活づくりや地域づくりの形成を図るため、稲沢市植木生産振興会との共催で、毎年4月下旬に国府宮参道にて「いなざわ植木まつり」を開催している。		
	委託・補助金等の内容	会場設営等業務委託、駐車場整理業務委託等	
事業の目的 (施策との関連性)	本市の植木生産者が良質な植木、苗木、盆栽を安く消費者に提供することにより、「植木・苗木・盆栽の産地 いなざわ」を広くPRし、「いなざわブランド」の振興を図る。		
事業の対象(者)	市内外の消費者	対象(者)数	- (単位) 人
現況と課題	毎年、市内外から多数の来場者を迎えており、まつり自体は盛況であるが、一方で植木・苗木の出店者数は年々減少しているため、出店者の確保が課題となっている。		

a2:事業目的の達成に向けて【ロジックモデル】

※26年度は実績

活動・手段(まず何を実施するか)	活動・手段指標(どの程度)								
植木・苗木の出店者を確保する。	指標名	単位・指標式		24年度	25年度	達成率		26年度	27年度
				目標	19			19	84%
				実績	19	16			
				指標名	単位・指標式	24年度	25年度	達成率	
市内外に植木まつりのPRを行う。	指標名	単位・指標式		24年度	25年度	達成率		26年度	27年度
				目標	10,000			10,000	95%
				実績	9,492	9,492			



※26年度は実績

中間成果(その結果、対象(者)はどうか)	成果指標(どの程度)								
市内外の消費者が、植木まつりに来場する。	指標名	単位・指標式		24年度	25年度	達成率		26年度	27年度
				目標	60,000			60,000	105%
				実績	57,000	63,000			
				指標名	単位・指標式	24年度	25年度	達成率	
				目標				目標	
				実績					



※26年度は実績

最終成果(その結果、市(市民)全体としてどうか)	成果指標(どの程度)								
良質な植木、苗木、盆栽を安く消費者に提供することにより、「植木・苗木・盆栽の産地 いなざわ」を広くPRし、「いなざわブランド」の振興に寄与する。	指標名	単位・指標式		24年度	25年度	達成率		26年度	27年度
				目標	12,000			12,000	102%
				実績	11,928	12,235			
				指標名	単位・指標式	24年度	25年度	達成率	
				目標	18,000	18,000		目標	
				実績	19,408	18,002	100%	目標	19,016

a3: 事業に必要な経費

コスト把握(手段実施にいくらかかるか)		(単位:金額は千円、職員数は人)				単位当たりコスト	
費目	内容	24年度	25年度	26年度	27年度	平成26年3月31日現在	
コスト	委託料	会場設営等業務委託ほか	2,630	1,448	2,071	2,100	人口 138,399 人 ⇒ 市民一人当たりコスト 39.61 円
	補助金	-	0	0	0	0	世帯 52,181 世帯 ⇒ 一世帯当たりコスト 105.06 円
	その他	臨時職員賃金、消耗品費ほか	2,034	1,889	2,202	2,300	
	人件費	従事職員数×6,500千円	2,145	2,145	2,145	2,145	事業の対象(者)数 - 人 ⇒ 対象単位当たりコスト - 円
従事職員数		0.33	0.33	0.33	0.33		
計		6,809	5,482	6,418	6,545		
収入	国・県支出金	-	0	0	0	0	特記事項 平成24年度に40周年記念事業を行った(いなざわ植木まつり40周年記念事業運営業務委託 1,286千円)。
	その他	-	0	0	0	0	
差引市税等		6,809	5,482	6,418	6,545		

b1: 個別評価

Side b

個別項目		評価観点	評価(3高~低1)	
妥当性	目的妥当性	1: 事業の目的は、上位施策の実現につながっているか?	⇒ 3	上位施策の実現のために不可欠である
	市の関与	2: 国・県・民間事業者との役割分担や市民活動のあり方等から、市が実施することが妥当であるか?	⇒ 2	市と市民・民間事業者等とで協働すべきである
有効性	社会環境への適合性	3: 事業の目的等は、社会経済情勢の変化など時の経過に適切しているか?	⇒ 2	社会環境に一部適合していない
	市民ニーズ等	4: 利用者・対象者の推移等からみて、市民ニーズは低下していないか?	⇒ 3	市民ニーズは低下していない
	進捗度合い	5: 事業の成果は上がっているか?	⇒ 2	どちらかといえば成果が上がっている
効率性	活動・手段の最適性	6: 活動・手段は、最適なものとなっているか?	⇒ 2	活動・手段に見直しの余地はあるが概ね妥当である
	受益者負担	7: 受益者の費用負担(補助金・負担金等は、補助・負担割合)は、社会経済状況や物価の推移などに照らして適切であるか?	⇒ 3	負担割合(負担なしを含む)は適切である
	コスト削減	8: 事務の見直し等による従事時間の縮減やコスト削減の余地はないか?	⇒ 2	コスト削減を検討する余地がある



b2: 総合評価

総合評価と所見	評価	総合コメント(個別評価の結果を踏まえて、事務事業の課題を整理)	【総合評価・記号の定義】
	B	「いなざわ植木まつり」については一定の成果を上げており、来場者数も毎年増加傾向にある。市内外からの来場者に、稲沢市の植木を購入していただくことで、「植木・苗木・盆栽の産地 いなざわ」を広くPRし、「いなざわブランド」の振興に貢献している。 その一方で、売上金額や出店者数の減少が課題となっており、事業の実行委員会方式へのシフトを含めて、運営方法の改善が必要である。	A: 計画どおり事業を進めることが適当である B: 事業の進め方などに改善が必要である C: 事業規模・内容・実施主体の見直し、又は事業の統合の検討が必要である D: 事業の廃止・休止の検討が必要である



b3: 改革・改善計画

改革・改善の方針	事業の方向性	<input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 維持 <input checked="" type="checkbox"/> 方法改善 <input type="checkbox"/> 統合・縮小 <input type="checkbox"/> 市民協働・民間委託 <input type="checkbox"/> 廃止・休止
	投入するコスト	<input type="checkbox"/> 増額 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 減額 <input type="checkbox"/> 投入しない
事業に投入するコストは維持するが、事業の方向性については、実行委員会方式へのシフトを含めた運営方法の改善が必要である。		
これまでの取組状況	毎年スタンプラリーやクイズラリー等の催しも実施し、植木まつりへの集客に努めている。	
今後の実行計画	既存の催しに替わる新たな催しを企画・実施することで、植木まつりへの来場者数、植木・苗木等の売上金額の増加を目指す。 運営方式については、現行の市と稲沢市植木生産振興会との共催から実行委員会方式へシフトすることを検討する。	